

第82期

# 報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日



善五郎の滝と乗鞍岳

## 株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第82期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）のご報告にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まずは昨年8月に発覚しました社内不正事件に関しまして、株主の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを、深くおわび申し上げる次第でございます。現在は全社一丸となって、再発防止と信頼の回復に努めております。

さて、当期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持しておりますが、中国経済の減速感やヨーロッパにおける難民問題等により、第3四半期連結会計期間以降に至っては踊り場の状況が顕著となり、日経平均株価も若干弱含みの展開となっており、年度末に向けては下げ基調で推移いたしました。当社の主な営業品目である石油等のエネルギー関連商品におきましても、元売各社再編の動きが活発となり、今後の動向にも注目していく必要があります。

このような状況のもと、当社グループは、引き続き「エネルギーのベストミックス」を基本に、LPガス・石油類・太陽光発電等お客様のニーズに対応したトータルな提案営業を積極的に展開し、エネルギー利用の高効率化を推進する一方、コスト削減や適正利益の確保に継続的に取り組んでまいりました。

また、LPガス供給における消費者保安は、当社グループ事業の基本であるとの経営理念に基づき、LPガス保安確保機器の普及促進に継続して注力してまいりました。その結果として当社は、全国のLPガス事業者の約1%の最優良販売事業者に付与される「ゴールド保安認定事業者」の称号を取得することとなりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、当社が日本証券業協会の店頭登録銘柄として株式公開を果してから20周年を迎えることを記念し、株主の皆さまの日頃のご支援に対する感謝の意を表したく、1株当たり18円の普通配当に記念配当1円を加え、合わせて19円とさせていただきます。

サンリングループは、安心便利なエネルギーを安価で安定的に供給することはもちろん、エネルギーの高効率化や環境負荷の低いエネルギーの普及促進等、エネルギーに求められるニーズに合わせて柔軟に変化をしていきます。

また、エネルギーの販売を通してお客様のニーズに沿った様々なサービスを提供することで、豊かな暮らしを応援する地域密着型生活関連総合商社として、さらなる企業価値の向上に努めてまいり所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

柳澤 勝久

平成28年6月

# 営業の概況(連結)

## ■財務ハイライト

売上高 (単位: 億円)



経常利益 (単位: 百万円)



純利益 (単位: 百万円)



自己資本比率 (単位: %)



石油事業におきましては、全般的な景気回復の遅れから自動車燃料の節約志向や暖冬の影響から暖房需要が伸び悩みました。構造的な需要の減少が進行する中、原油価格が低位で推移した影響から需要期の冬場においても販売価格の下落が続いたことで売上高は大幅な減収となりました。このような中において当社グループは、価格競争力と顧客サービスの向上を図りながら、販売数量の確保に努めてまいりました。また、給油所再編成のためのスクラップ&ビルドの一環として、当連結会計年度末において、設備の老朽化と道路環境の変化から、当社伊那松島給油所の閉鎖を行いました。

LPガス事業におきましては、LPガスの輸入価格下落に伴う販売価格の引き下げ等により厳しい収益環境となりましたが、引き続き販売店と一体となったキャンペーンを実施し、ハイブリッド給湯器「エコワン」等の最新の高効率燃焼機器の提案営業による普及拡大を図るとともに、ガスファンヒーターのレンタル等を通じ、LPガス顧客基盤の拡大や顧客接点強化による既存顧客の深耕に努めました。また、ゴールド保安認定事業者として保安の高度化をさらに進めるため、LPガス保安確保機器の普及促進等に注力した結果、当連結会計年度末における認定対象先は78%を超えております。

リフォーム事業におきましては、高齢化に伴うバリアフリーへのリフォーム需要等、お客様の要望に的確に応える積極的な営業展開を行ってまいりました。

太陽光発電事業におきましては、固定価格買取制度の買取価格引き下げから大型設備への投資意欲は低下の傾向にありますが、遊休地の有効活用や節税対策などお客様のニーズに果敢に応えるよう引き続き積極的な営業展開を行ってまいりました。また、自社太陽光発電設備として、麻績発電所(1.0MW)等の大型発電所を順次稼働させ、当連結会計年度末の自社発電総量は約4MWとなりました。

サンエネック(株)の不動産事業におきましては、宅地造成分譲が堅調に推移したことにより、グループの業績に大きく貢献しております。

これらの結果、当年度の連結業績につきましては、売上高は前期比17.7%減の264億16百万円、経常利益は前期比19.9%増の12億98百万円となり、当期純利益は前期比5.3%増の5億67百万円となりました。

なお、当社元従業員による不正な着服行為の発覚に伴い、過年度決算に関し、会計上の誤謬が判明したため、本報告書における過年度数値については、当該誤謬の訂正後の数値を記載しております。

# 財務指標

## 連結貸借対照表(要旨)

当 期 末 (平成28年3月31日現在)  
前 期 末 (平成27年3月31日現在)

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	当期末	前期末
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,268</b>	<b>10,585</b>
現金及び預金	5,726	5,540
受取手形及び売掛金	2,778	3,241
商品及び製品	1,068	1,335
仕掛品	80	26
原材料及び貯蔵品	327	124
繰延税金資産	137	147
その他の流動資産	151	174
貸倒引当金	△ 1	△ 5
<b>固定資産</b>	<b>12,756</b>	<b>12,804</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>8,679</b>	<b>8,630</b>
建物及び構築物	2,066	1,887
機械装置及び運搬具	614	648
工具、器具及び備品	621	579
土地	5,180	5,465
建設仮勘定	195	50
<b>無形固定資産</b>	<b>72</b>	<b>102</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>4,005</b>	<b>4,070</b>
投資有価証券	3,575	3,681
繰延税金資産	100	76
差入保証金	187	180
その他の投資その他の資産	351	325
貸倒引当金	△ 209	△ 193
<b>資産合計</b>	<b>23,024</b>	<b>23,389</b>

	当期末	前期末
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>6,014</b>	<b>6,384</b>
支払手形及び買掛金	1,877	1,919
短期借入金	2,942	3,004
1年内返済予定の長期借入金	140	192
未払法人税等	217	164
賞与引当金	274	289
その他の流動負債	561	813
<b>固定負債</b>	<b>1,601</b>	<b>1,776</b>
長期借入金	339	496
退職給付に係る負債	721	725
役員退職慰労引当金	212	185
資産除去債務	53	24
繰延税金負債	75	113
固定資産解体費用引当金	—	36
その他の固定負債	198	194
<b>負債合計</b>	<b>7,615</b>	<b>8,160</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>15,173</b>	<b>14,826</b>
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,245	1,245
利益剰余金	12,423	12,076
自己株式	△ 8	△ 8
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>206</b>	<b>372</b>
その他有価証券評価差額金	229	329
退職給付に係る調整累計額	△ 23	42
<b>非支配株主持分</b>	<b>28</b>	<b>29</b>
<b>純資産合計</b>	<b>15,408</b>	<b>15,228</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>23,024</b>	<b>23,389</b>

# 財務指標

## 連結損益計算書(要旨)

当 期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)  
前 期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
売上高	26,416	32,090
売上原価	19,396	25,177
売上総利益	7,020	6,912
販売費及び一般管理費	5,930	5,959
<b>営業利益</b>	<b>1,090</b>	<b>952</b>
営業外収益	246	222
営業外費用	38	91
<b>経常利益</b>	<b>1,298</b>	<b>1,083</b>
特別利益	10	100
特別損失	341	205
税金等調整前当期純利益	967	978
法人税等	399	437
当期純利益	567	540
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 0	1
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>567</b>	<b>539</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

当 期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)  
前 期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:百万円)

	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,745	1,902
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,067	△ 703
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 492	△ 345
現金及び現金同等物の期末残高	3,851	3,666

## ◆太陽光発電システムによる環境貢献

下期においては自社発電所として麻績発電所が運転開始となりました。これにより自社発電所は合計13件、総発電能力は約4.0MWとなりました。これは毎日一般家庭約1,130軒分（1日約13,100kWh）<sup>※1</sup>の電気を作成し、1年間でドラム缶約4,500本分の原油から排出される二酸化炭素約1,260tを削減していることになります。<sup>※2</sup>



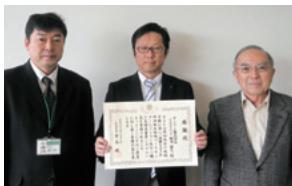
自社発電所第13号麻績発電所

※1 「一般家庭の平均年間電力消費量」は4,209kWh/年  
(省エネルギーセンター:待機時消費電力調査報告書による)

※2 太陽電池による原油、CO<sub>2</sub>削減効果1kWシステム当たり  
年間で原油227L、二酸化炭素314.5kgで換算(太陽光発電協会による)

## ◆松本市岡田支所への防犯・防災設備寄贈

当社は松本市岡田町の岡田財産区の所有する土地を借受けて自社発電設備を設置するにあたり、地域住民の皆様にも少しでも役立てるよう、発電所近くの岡田支所駐車場に災害時にも使用できる「自立型発電システム」と「ソーラー外灯」を寄贈しました。



感謝状授与

寄贈にあたり、岡田財産区の議長並びに岡田支所センター長より当社の地域貢献事業を評価していただき、感謝状を頂戴しました。これからも環境にやさしいエネルギーをとおして、地域社会の発展に貢献してまいります。



ソーラー外灯の様子

## ◆新CM放映開始

このたび、新たにテレビCMを作成いたしました。新CMは当社が取扱うLPガスの保安をテーマとした内容で、経済産業省推奨の「ゴールド保安認定事業者」の称号を取得するにあたり、「はい!セーフ24」を通じてお客様の安全を24時間365日見守っていることをアピールした内容となっております。



「ひとつ上の安心・安全を」編

## 株式の状況 (平成28年3月31日現在)

### ■株式の状況

① 発行可能株式総数	40,000,000株
② 発行済株式の総数	12,300,000株
③ 1単元の株式の数	1,000株
④ 株主数	723名

### ■上位株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社ミツウロコグループホールディングス	1,676	13.6
リンナイ株式会社	712	5.8
等々力正敏	614	5.0
株式会社八十二銀行	575	4.7
曾根原充夫	530	4.3
東燃ゼネラル石油株式会社	500	4.1
株式会社長野銀行	458	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口79212)	352	2.9
須澤孝雄	346	2.8
長野県信用農業協同組合連合会	225	1.8

(注) 出資比率は、自己株式16千株を控除して計算しております。

### ■分布状況

所有者別の株式分布状況

所有者	持株数(千株)	出資比率(%)
個人・その他	6,761	55.0
金融機関	2,104	17.1
その他の国内法人	3,414	27.8
自己株式	16	0.1
その他	4	0.0

### ■配当性向(連結)

第78期	第79期	第80期	第81期	第82期 (平成27年度)
40.1%	38.6%	37.8%	41.0%	41.1%

## 会社の概要 (平成28年3月31日現在)

- 社名 / サンリン株式会社
- 設立 / 昭和9年12月19日
- 資本金 / 15億1,280万円
- 従業員数 / 482名 (グループ人員)
- 事業の内容 / 石油製品、LPガス、一般高圧ガスおよび  
住設機器の販売、煉炭・豆炭の製造販売

### ■役員の状況 (平成28年6月24日現在)

代表取締役社長	柳澤勝久
代表取締役専務	塩原規男
常務取締役	茂木誠平
社外取締役	田島晃
取締役	金井正
取締役	須澤孝充
取締役	高野朗
取締役	中村章
取締役	百瀬久志
常勤監査役	川岸隆
常勤監査役	矢口秀明
社外監査役	山根伸右
社外監査役	井口秀昭

### ■子会社等 (平成28年6月24日現在)

- 三鱗運送株式会社 (一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業)
- ウロコ興業株式会社 (管工事業)
- 富山サンリン株式会社 (燃料等卸小売業)
- サンエネック株式会社 (LPガス容器等賃貸業、保険・不動産業)
- 上伊那ガス燃料株式会社 (LPガス充填業務)
- サンリン松本エネルギー株式会社 (燃料等卸小売業)
- サンリンI&F株式会社 (氷製造卸、冷蔵倉庫業)※
- 株式会社一実屋 (青果卸売業)
- サンネックスパワー駒ヶ根株式会社 (太陽光発電事業)
- 新潟サンリン株式会社 (燃料等卸小売業)

※平成28年6月1日付をもって、田中製氷冷凍株式会社は、サンリンI&F株式会社に変更いたしました。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日(ただし、中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所 公告の方法	東京証券取引所JASDAQ市場 電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.sanrinkk.co.jp/">http://www.sanrinkk.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お 知 ら せ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 営業拠点



UD FONT  
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

この報告書は、環境に優しい植物油インキを  
使用して印刷しています。